

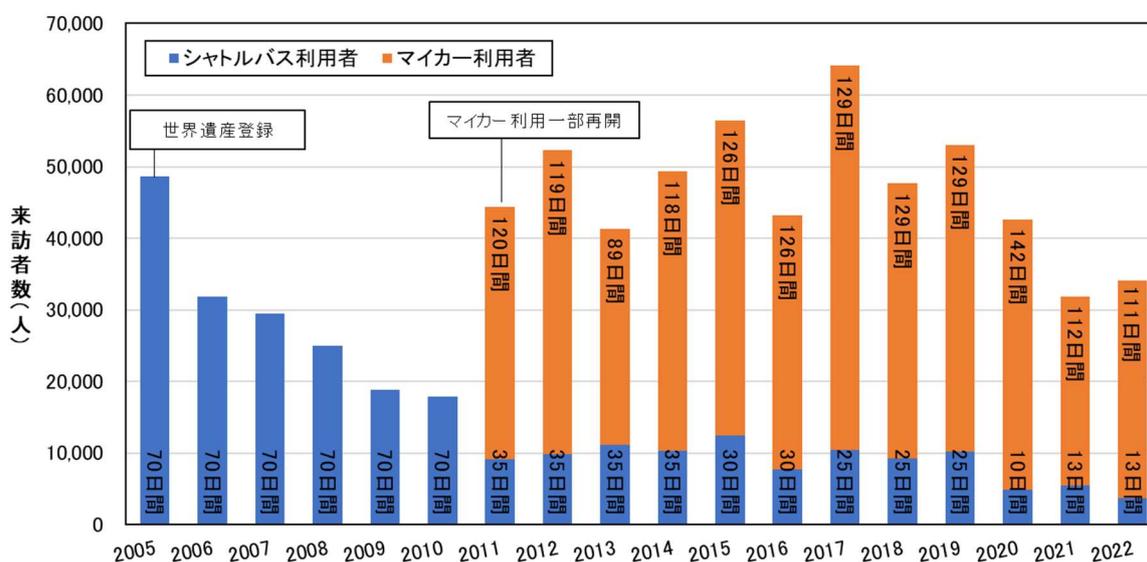
カムイワッカ地区における取組の進捗状況について

トピック

- ・カムイワッカ地区の来訪者数は、マイカー利用者 30,365 人（前年比 115%）、シャトルバス乗車人数 3,713 人（前年比 68%）となり、合計は 34,078 人（前年比 107%）。
- ・2022 年 12 月 23 日にカムイワッカ部会（第 18 回）を開催。当年度の事業報告及びカムイワッカ湯の滝の現状報告と今後の利用のあり方について協議した。
- ・2023 年度も引き続きカムイワッカ橋以奥の落石防止工事及びカムイワッカ橋左岸の擁壁工事を実施予定（工事担当：網走建設管理部）。

1. カムイワッカ湯の滝の利用状況

- ・供用区間：1 の滝上部まで（9/30～10/2 の計 3 日間は試行事業 B として 4 の滝まで）
- ・供用期間：6 月 1 日～10 月 2 日 ※道道知床公園線の供用期間
- ・供用期間中のカムイワッカ地区の来訪者数：34,078 人（前年比 107%）
- ・マイカー規制期間中（8/6～15、9/30～10/2 の計 13 日間）のシャトルバス乗車人数：3,713 人、日平均乗車人数 286 人（前年 417 人）



※マイカー利用者による来訪者数は知床五湖駐車場の駐車台数からの推計値。

図：2022 年度カムイワッカ地区の来訪者数（推定）

2. カムイワッカ部会の開催状況

- 第 18 回カムイワッカ部会：2022 年 12 月 23 日

（普及啓発事業）

- ・ 知床ディスタンスキャンペーンとして 3 年目にあたる 2022 年度は自然公園法の改正に伴い

例年の普及啓発活動に加えて新規の取組としてしおりサイズのカード作成と知床五湖駐車場での配布、広報マグネットシートの追加作成と構成団体への配布、10月の知床サスティナブルウィーク期間にヒグマの普及啓発イベントの実施、北見レンタカー協会を通じてのしおりと公園法改正に関するチラシの配布を実施した。

(道道知床公園線 カムイワッカ地区落石防止工事)

- ・ カムイワッカ橋以奥の落石防止工事（落石防護柵の設置等）を6月から12月の期間で実施。またカムイワッカ橋左岸の擁壁についても変状が見られることから、2022年度から3ヶ年の計画で対策工事を実施する。工事期間は10月から12月を予定。硫黄山登山口までの区間開放については対策工事が終了した時点で有識者を交えて検討後、決定する予定。

(シャトルバス運行事業)

- ・ 交通規制を伴わない路線バス増便事業を5月・7月の連休に、また8月には従来方式によるマイカー規制を10日間実施した。加えて新方式によるマイカー規制を試行事業の2年目として9月30日から3日間実施し、新たに取り組んだバスの有償化や魅力向上化対策について報告した。
- ・ 北海道大学からマイカー規制期間中に実施した意識調査についての報告（速報）があった。選択型実験の分析によればニーズの異なる3グループに分けられるためそれぞれの満足度を高める方策が必要とされること、シャトルバスに対する支持や認知度に関して有償化の前後では大きな経年変化は見られないこと、などが示された。
- ・ 知床オータムバスデイズの過去3年間の実施状況に関する振り返りの後、事務局から来年度の目標達成は主に収支バランスの観点から厳しい状況にあること、持続可能な形を念頭に今後の事業計画については3月に開催予定のカムイワッカ部会で提案することが説明された。

(カムイワッカ湯の滝1の滝以奥の再利用試行事業)

- ・ 2022年度は4月に発生した海難事故の影響を踏まえて規模を縮小したうえでオータムバスデイズに合わせて試行事業B（個人利用型）のみを実施、3日間で53組85名が参加した（昨年度比56%）。
- ・ 参加者の意識や行動を把握するためのアンケート調査（回収率87.4%）の結果が示され、参加者の属性について20代が32.4%、居住地について道外と道内ではほぼ半数ずつであったこと、1,000円から2,000円に変更となった協力金について適切と回答した割合が約7割であったこと等が報告された。

(カムイワッカ湯の滝の現状と今後の利用のあり方)

- ・ 斜里町から2022年11月に実施した落石調査（速報）の報告があり、下部区域も上部区域と同様の落石の危険性が一定程度あることを認知するに至り、これまでの下部区域における「自由利用」の維持は困難と説明。
- ・ 一方で2年間の試行事業による成果を踏まえ、一定の利用を維持するために両区域を統合して試行事業の対象区域として扱う案が提示され、総論については同意を得た。運用体制等の詳細については3月に開催を予定しているカムイワッカ部会で協議していくこととしている。

3. カムイワッカ地区の整備について

- ・ 網走建設管理部は 2023 年度も引き続きカムイワッカ橋以奥の落石防止工事（3ヶ年計画の3年目）及びカムイワッカ橋左岸の擁壁工事（3ヶ年計画の2年目）を実施予定。擁壁工事の開始日については次回のカムイワッカ部会における決定事項を受けて調整する予定。